

## 「セルリアンタワー能楽堂」の運営を株式会社東急文化村に変更

東京急行電鉄株式会社  
株式会社東急文化村

東京急行電鉄株式会社（以下、東急電鉄）は、「セルリアンタワー能楽堂」の運営者を、これまで運営にあたってきた株式会社東急セルリアンタワーに替って、株式会社東急文化村（以下、東急文化村）とすることに決定しました。

セルリアンタワー能楽堂は、2001年5月22日、東急電鉄の旧本社跡地に建てられたセルリアンタワーの地下2階に開設されました。以後、渋谷で一番の高さを誇るランドマークの中という立地を生かし、世界に向けた伝統文化の発信機能を担ってまいりました。能の五流儀による主催公演を中心としながら、さまざまなジャンルの日本の伝統文化の発信や異文化との共演など多彩な公演活動を行っています。

また、東急文化村は、これまでBunkamuraチケットセンターでの能楽堂公演のチケット販売協力だけでなく、能楽堂でのオリジナル公演の企画・制作なども行い、密接な関係を築いてきました。

東急文化村とセルリアンタワー能楽堂は、今回の運営受託により、関係を一層強固なものとし、能楽堂としての基本である「伝統と格式」を守った自主公演を開催することを核としながら、伝統芸能のさらなる普及・発展とセルリアンタワー能楽堂の認知度向上を目指します。また、20年余にわたるBunkamuraの運営によって培ってきたノウハウとネットワークを生かして、多彩で魅力ある公演をお届けします。

東急グループの文化事業の中心として、複合文化施設「Bunkamura」の運営を担ってきた東急文化村は、2012年7月に渋谷ヒカリエに開業する新劇場「東急シアターオーブ」とともに、「セルリアンタワー能楽堂」の運営を受託することで、渋谷の文化シーンをさらにリードしていきます。

セルリアンタワー能楽堂の施設概要は別紙のとおりです。



以上

【別紙】

「セルリアンタワー能楽堂」の施設概要

- ・当能楽堂は、国道246号線沿いにそびえる超高層ビル「セルリアンタワー」の地下2階に位置しています。  
〒150-8512 東京都渋谷区桜丘26番1号 B2F

・舞台

本舞台	5.9m×5.9m
地謡座	5.9m×1.4m
後座	5.9m×3.3m
舞台高さ	90cm
舞台から水引までの高さ	2.9m
橋掛の幅	2.0m
橋掛の長さ	7.8m
橋掛の角度	約99°
鏡の間	8.5坪(28㎡)
使用木材	檜
屋根	檜皮葺き(ひわだぶき)

・見所

定席	201席
床仕上げ	カーペット敷き

・楽屋・装束の間・座敷(松風・羽衣)・焙じ室

楽屋	6畳1室・8畳1室・10畳1室・12畳1室
装束の間	8畳1室
座敷(松風・羽衣)	8畳1室・6畳1室

以上